

三番瀬カレンダー制作

【支援金確定額：190,150円 支援率：45.65%】

記入日：平成25年（2013年）3月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

船橋市の目の前に広がる三番瀬は広範囲に埋め立てられましたが、残っている干潟、浅海域では今も多くの生物が生まれ育ち、漁業も脈々と続けられています。渡り鳥の飛来地としても全国的に知られています。

この三番瀬の自然の姿や漁業、伝統行事などの写真をカレンダーという見やすい形に編集し、小学校、公民館などに寄贈しています。また書店や地域のお店で販売もしていただいています。

三番瀬の自然環境が私達にとってかけがえのない貴重な財産である事を、より多くの方に感じて頂きたいと願い活動しています。



2012年12月市役所ロビーで2009年からのカレンダーを展示、三番瀬の様々な顔を紹介しました

■支援金をどのように活用されましたか？

支援金をカレンダー編集・印刷費用の一部にあて、船橋市立小学校全学級に寄贈する事が出来ました。特に子どもたちに三番瀬が身近な自然環境として大切な場所であることを伝えたいので、児童館など子どものための施設にも寄贈しました。

また、このカレンダーの拡大ポスターを市民の皆さまに見ていただくことで、三番瀬に関わる地元の歴史、行事、また漁業などについて再認識していただきたく、市役所(写真)や船橋本町通りなどで展示をしましたが、このための費用としても活用させていただきました。



2013年カレンダー-10月

ミヤコドリ 冬鳥 三番瀬は日本一の飛来地とされています

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

船橋市民にとって「ふなばし三番瀬海浜公園」は身近な存在ですが、その公園の前に広がる海が三番瀬である事、またそこで海苔養殖や魚貝漁が盛んに行われている事などを「知らなかった」という方がまだまだいらっしゃいます。その方達は三番瀬カレンダーや展示された拡大ポスターを見て、「船橋に三番瀬という優れた自然環境がある」ことにあらためて驚かれます。以前から三番瀬の事をよく知っている方も「やはり、三番瀬は貴重な場所」との感想を語られます。

三番瀬という自然環境が日常生活に近いところ、あるいは生活に密着して存在していることを、カレンダーの写真を通じて伝えられたとおもいます。

■今後の活動の抱負について

来年度も引き続き三番瀬カレンダー（2014年）の制作を行います。小学校を中心とした寄贈、拡大版の展示などを続ける事によって、三番瀬の自然や漁業、三番瀬に関わる町の歴史や行事などを大切な財産と考える市民が増えていくことを願って活動します。また、これらの費用とするため、カレンダーの有料頒布などもより広く行いたいとおもいます。

■問い合わせ先：代表 田原 悦子（たはら えつこ）

TEL：090-2457-7102

E-mail：et-higashihunabashi@mild.ocn.ne.jp